

決算特別委員会及び常任委員会で合意形成を 図った意見・要望(要約)

令和4年度予算案や事業等に反映する必要があると思われるもの

【決算特別委員会】

決算特別委員会において各委員から出された意見・要望を集約した結果、全会派及び無所属議員全員による積極的な賛同により合意形成を図ったものについて、市長に要望し回答を求めました。

●新型コロナウイルス感染症対策は事業者ニーズを捉えて早急に

保育所等における新型コロナウイルス感染症対策については、国が令和2年度第3次補正に予算を計上していることや感染者が低年齢化している現状も踏まえ、感染症対策の徹底を図りながら、保育を継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費)や感染防止用の備品購入経費、また、安心・安全な保育の提供を図る上でも有効なICT化推進事業、保育体制強化事業など事業者ニーズを捉えながら、早急に対応してほしい。



【市民教育厚生委員会・都市環境経済委員会】

両委員会において、それぞれ所管部局から説明を受け、委員間討議などを行い全委員の合意形成を図った総意として以下の項目について、市長に要望し回答を求めました。

【市民教育厚生委員会】

●子育て世代包括支援センターの体制整備

子育て世代包括支援センターへのソーシャルワーカーの配置については、複雑で多様化する相談へ対応できる体制整備をさらに進めるため、ソーシャルワーカーの処遇改善が必要であることから、人件費など必要な予算を確保してほしい。



●待機児童解消等の取組を

学童保育所・クラブの待機児童解消や預かり時間延長、及び夏休み期間の預かりについては、人材確保に関する課題解決のため、他市の運営事例や利用料等を調査し、支援員の処遇改善を検討するとともに、人件費などの必要経費を予算として確保した上で、その経費を含めた具体的な条件を指定管理者や受託者へ提示するなど、事業者の理解を得ながら取組を進めてほしい。



【都市環境経済委員会】

●重要な観光振興の指針として

観光基本計画の策定に当たっては、広い視野を持つとともに、市内の他部局課との連携や協議も行いながら、次の項目に取り組んでほしい。

1. 有明海沿岸道路沿線の県・市・町との広域連携
2. 「食」などを活用したターゲットの絞り込み
3. 交流人口の拡大につながるコンベンション機能の充実
4. 行政と民間事業者の役割分担を明確にし、体制の強化を図った観光基本計画の推進
5. 大蛇山まつりの開催方法など課題の整理等への着手

※項目は要約

